

## 伊勢湾貧酸素情報（第5報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では湾奥部と伊勢・鳥羽沖の一部に2 mg/L以下の貧酸素水塊が形成されています。湾中央部では酸素濃度は依然低いものの先月より緩和されています。

### 10月3日の調査結果

10月3日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で24.6～25.1℃、10mで24.4～25.3℃、底層で22.0～25.1℃の範囲にあり、表層及び10mは平年より高め、底層は平年よりやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で7.6～12.5 mg/L、10mで2.4～5.8 mg/L、底層で1.3～5.2 mg/Lの範囲にあり、表層は平年よりやや高め、10m及び底層は平年よりやや低めとなっていました。

底層の貧酸素水塊は先月湾中央部を中心に広く分布していましたが今回は湾奥と三重県側伊勢鳥羽沖の一部のみとなっていました。表層と底層の水温差も縮まっていることから今後は貧酸素の分布も縮小していくものと思われま

